



グリーンポトスニュース

34号：2000年6月

お陰さまで、本年の6月5日にて4周年を迎えます。これからもペインクリニックを中心に地域医療に精一杯励んでいきます。そこで、今月の話題は『ペインクリニック』です。

ペインクリニック

「ペイン」とは英語で「痛み、苦痛」を意味します。ですから、ペインクリニックを「痛みの診療所」と私たちは、呼んでいます。ペインクリニックの対象疾患は、頭痛、肩凝り、腰痛、各種の神経痛など数多くあります。帯状疱疹神経痛など、ペインクリニックでしか治療できない疾患も多いです。

ペインクリニックでは、神経ブロック療法を中心に治療を進めていきます。これは、神経に注射することにより、痛みを遮断し、血行を良くすることにより病気を治していくのです。痛みがあるところは、疼痛反応のため、交感神経が興奮して、血流が悪くなり、痛みを増強させるのです。これを「痛みの悪循環」と呼んでいます。神経ブロックは、疼痛神経と交感神経を同時に遮断して、「痛みの悪循環」を断ち切り、痛みを軽減させていくのです。

このように神経ブロックは血行を改善するため、虚血性疾患にも適応となります。たとえば、糖尿病が進行すると血管が詰まっておこる糖尿病性網膜症や、数歩歩くと痛みのため歩行困難となる閉塞性動脈硬化症にも有効です。

ストレスが原因とされているメニエール病、突発性難聴、顔面神経麻痺なども適応となってきます。その他、花粉症をはじめとするアレルギー疾患にも治療成績を上げております。これらの疾患に対しては、星状神経節ブロックが施行されます。星状神経節ブロックは、脳内血流を増加させるために、これらの病気を治していくのです。ストレスは脳の中の視聴下部 - 下垂体系に悪影響を与え、自律神経系、免疫系やホルモン系に乱れが生じます。星状神経節ブロックをすることにより、視床下部 - 下垂体系の血流を増やして、状態を改善していくのです。

ペインクリニックは痛みだけでなく、いろいろな病気に効果を発揮しますので、気軽にご相談ください。

